

メイタイ・アングル

されど

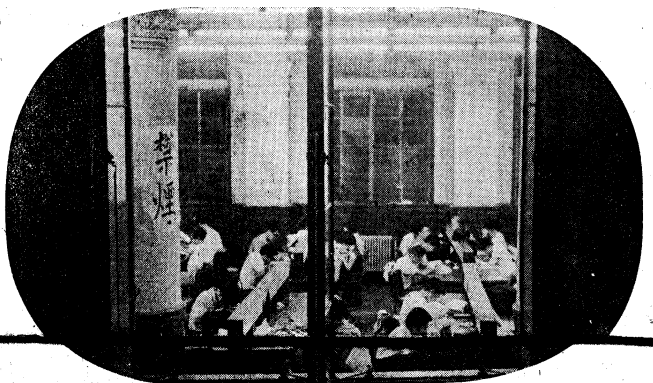
物忘れが日々

秋一九月、本学は未だ夏休みの体感中だが、全国各大学では二学期の授業が開始する。しかし今年には特殊な事情が加わっている。それは、学生たちの「メイタイ」騒ぎである。その騒ぎは、学生たちの生活に大きな影響を与えている。その騒ぎは、学生たちの生活に大きな影響を与えている。その騒ぎは、学生たちの生活に大きな影響を与えている。

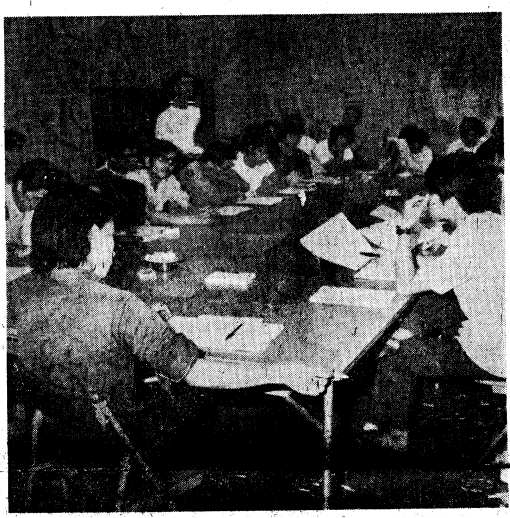


夕日に映えるシルエットーそれは石、ゴムを引く。石がうなる。空気に放物線を描いて落下する。舞(ひぐらし)の啼く生田。石を待つ学生。の姿は一箱の名画。静寂。

争山ヶバ大
病を語る。これからの方針、それとも革命。パリが導く「パリケードにはスタイルがよく似合う」。学歴前の大看板の下で



封鎖? 関係ない!
一人一人が自分の意見を主張する。手は繋がらない。手は繋がらない。手は繋がらない。



難産 全明全理全調
現行の教育制度は、学生たちの個性を伸ばすことができない。学生たちは、自分たちの意見を主張する。手は繋がらない。手は繋がらない。手は繋がらない。